

1.

『子とた成

P₁に後

2.

を
こ紐く一

のまを省てた

学的を隣詰まつた

点について検討を』
では、作成目的を
に到達せざるをえ
たとえば「赤門」
れらが東京大学キ
ことには違和感を
びつけて捉えてい
ていない) 人々を
けられない、とい
と、年譜中心の構
係や卒業生や雇外
明らかになった。

以上のような経緯
った。これ以降、
最終的にはForeign Ir
歴史的な解説的文章
編集作業を終え
ではあった。しか
『英文年譜』特有の
語を母語としない
が、以後の作業過程

3. 『英文年譜』の 以上述べたような

1) 扱う年代

『和文年譜』では
細に扱われていると
れ以後の20年間に
これに対して『英文
前史を含めて扱うこ
の概要におさえるこ

2) テーマによる構

特に明示はしなが
を設定し、そのテー
『英文年譜』では、
テーマは、東京大学
もの、および大学
識して選定された。

数度の検討を経て
を併記した。

前史[Origins]

本郷
東京
外国
東京
帝国
学内
卒業
古い
震災
図書
大講
戦争
女子
旧制
学生
周年
国際
海外
駒場
鳥瞰

以上
真によ
催)・
"The U
た。"

3) テ
文化
ことを
て掲載

4) 写
写真
ーマの
これは
「保存委
た。

4. 実
以上
われた

1) 解
翻訳

一タが
る項目
等に扱
討が行
年表項
テーマ
大学百
た。作
当性の
翻訳さ
後の文
のニュ
ニユア
問点を
所につ
ことな
事項につ
げれば、

- ・「徳川
- ・「加賀
- ・大講堂

以上の
このよ
われ、翻
くことが

2) 機関

1) で
たした
冊子は
歴
でなく、

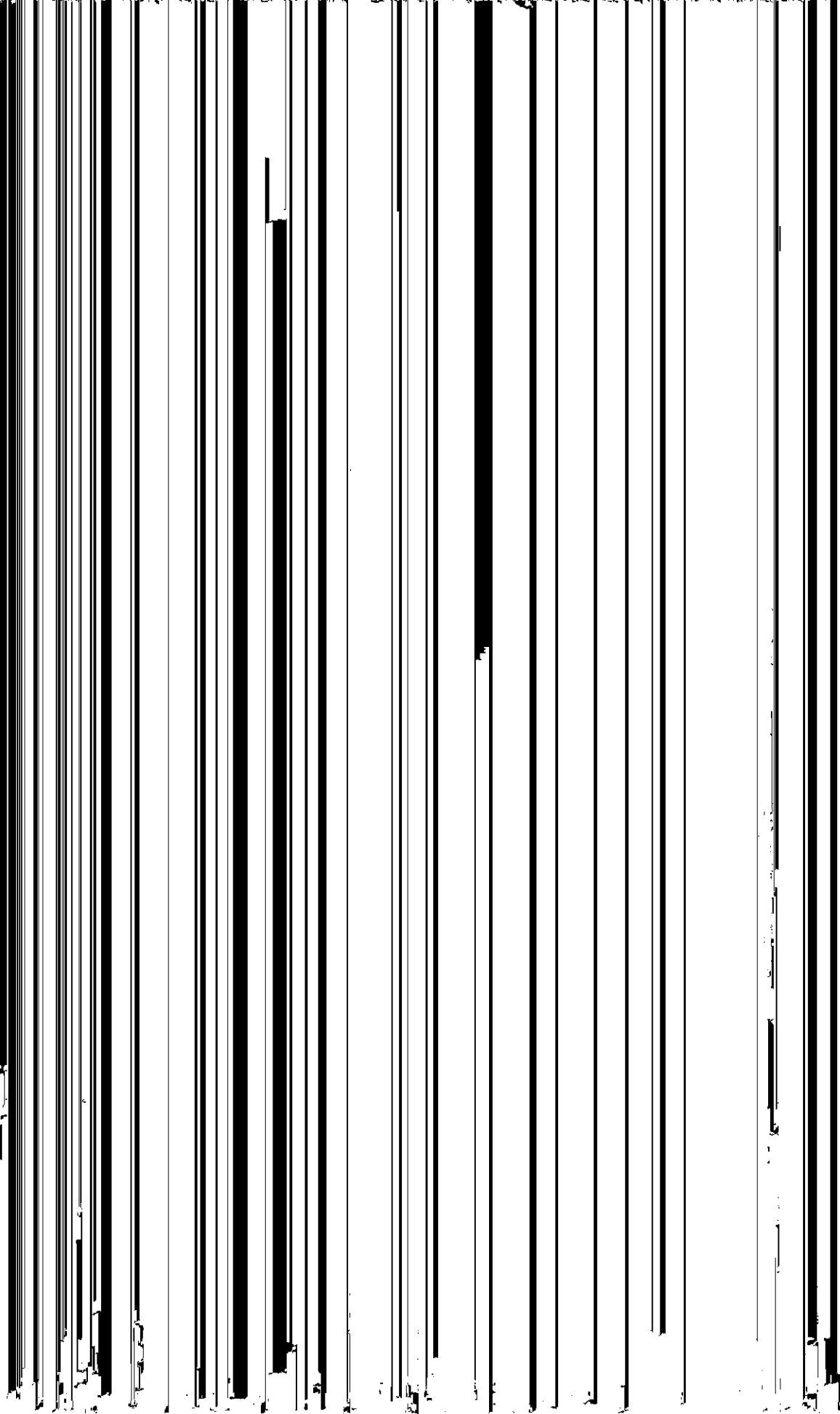
現在存
Universit

り、その
語機関名
終決定し

歴史的
問題が数
まず、

The Un,
Univers,

『日本近代



会（卒業から借用真を選び年新聞社にしたこ錦絵や館、東京して検索したが、いずれ作成し、一部寄贈写真に同様、英野に詳しいキャブ

- ①本文
- ②古い
- ③外国
- ④日本

最終的
作業の部
[Photo:～

5. 終わ
『英文
た。作成
いた内容
わたした
作成され
する「小
び方が、
外から東
く思う。

英文年語
国際化・作
今後、歴史
思われる。
ず訳語を確
基本的事項

今回の作

して位
言語に、
備え、

注

- 1) 言
- 2) 言
- 3) 言
- 4) 言
- 5) 言
- 6) 言